

令和2年度 第1回郡上市地域公共交通会議(会議要録)

○会議名称 令和2年度 第1回郡上市地域公共交通会議

○開催日時 令和2年7月2日(木) 午後1時30分～午後4時00分

○開催場所 郡上市役所 防災センター研修室

○協議事項

議題第1号 郡上市地域公共交通網形成計画事業の実施について

議題第2号 令和3年度生活交通確保維持改善計画の策定について

○報告事項

報告第1号 自主運行バス「美並巡回バス」並びに郡上八幡コミュニティバス
「まめバス(赤ルート)」車両更新について

○出席委員 日置敏明市長、尾藤安正、平岩憲政、大西春子、畑中知昭、岩見恒夫、西脇洋恵、畑中敦、
廣中健太、久世真、石田裕、今津篤、伊豆原浩二、佐々木綱行、池田喜八郎、古川昭文
上嶋英樹(代理)、田中隆之(代理)、栗山徹子(代理)、田原達也(代理) 計20名

○欠席委員 林 克憲、古川 浩二、佐野みゆき、釜谷保彦、林真弘 5名

○出席者 (事務局：市長公室企画課)

室長 日置美晴、企画課長 入木田瑞樹、交通対策担当係長 河合真英、主任主査 河合厚志

1. 開 会 (司会進行：企画課長)

2. 委員委嘱状の交付

3. あいさつ 会長 日置市長

4. 副会長の選出について

要綱第5条第1項の規定により、副会長は委員のうちから会長が指名することとされている。
副会長には、委員経験豊富な大和地域の畑佐知昭委員を指名したい。

5. 郡上市の公共交通の現状について 事務局より説明

* 質疑応答

委員 路線バスの利用者が2012年から2013年にかけて倍増している理由を教えてください。

事務局 このグラフは郡上市の経費が入っているバスのグラフとなる。2012年度以前には、岐阜バスが運行していたため、郡上市の経費が入っていないことから、岐阜バスの乗客数が含まれていなかった。2013年に岐阜バスが撤退したため、市内事業者による郡上八幡白鳥線が運行が開始され、郡上市の経費が入ることになったので乗客数がカウントされて乗客数が倍増する結果となった。

* 議長(会長代理：市長) 議事進行

6. 協議事項

議題第1号 郡上市地域公共交通網形成計画の実施について 事務局より説明 … **資料1**

* 質疑応答

委員 高校生への通学補助について経緯と利用人数の推移について教えてください。

事務局 平成30年度より郡上市高等学校通学費補助金を実施している。平成30年は延べ人数で郡上高校350人、郡上北高校143人の合計493人。令和元年度は郡上高校337名、郡上北高校110名の合計447名が利用した。

議長 延べ人数については、補助制度として前期と後期に2回に分けて申請受付をしているため、実質人数はほぼ半数とさせていただいてよい。利用人数が減少した理由は、生徒数の減少にある。補助金の経緯については、市内の中学校を卒業した生徒が市内にある2校ある県立高校に通学してもらいたいことと保護者の負担軽減を図る目的がある。郡上市は、市内にある県立高校2校への進学率が比較的高い状況にある。本市の南部だと、関市、美濃市の市外へ進学する方もいる。過去には市内2校への進学率が減少したため、1校に統合する話もあったことから、市内高校の維持存続を図ることから補助金が設立された。市外へ進学した方には補助がないため、保護者の負担軽減のみを考えるともう少し整理することも考えていかなくてはならない。

委員 中学生に郡上市高等学校通学費補助金があることを周知されているのか。

議長 教育委員会を通じて中学校には周知している。その他、意見が無ければ原案の通り承認してよろしいか。

全委員 異議なし

* 質疑応答

議長 美並地域の北側は八幡に近く、南側は美濃市に生活圏がある。美並八幡線は、主に郡上市民病院等に通う方が利用して、美濃病院等を利用する方は、美並美濃線に乗車することになる。現行はバス1台体制で運行していたが、今回の見直しによりバス2台とスクールバス1台の合計3台体制になることで運行便数が増えて利便性がよくなるということをご理解いただきたい。

委員 美並八幡線の路線は、岐阜バスの代替ルートという意味もあると思うが、高鷲から美濃市まで直通でいけるルートがほしい。また、白鳥の敬老会では観光列車長良を利用した旅行をしているが、郡上市から敬老会として補助をもらっているが、長良川鉄道の利用促進という意味で長良川鉄道からも補助してもらえないか。

事務局 バスの場合は、美並美濃線に乗り継いでいただければ美濃市までいくことができる。長良川鉄道も活用していただければと思う。長良川鉄道では、企画列車等も運行しているのでご利用いただきたい。

議長 長良川鉄道では高齢者の方に乗車していただくために、シルバー会員制度というものがある。年会費1000円で、会員になるとその後はワンコイン500円でどこまでも乗車可能になる。

委員 議案について整理について確認をしたい。今回の美並地域での計画は、令和3年度生活交通確保維持改善計画（P.8まで）として申請を7月末までにする必要がある。まずは現在の状況での計画を承認すること。この計画と関連している美並地域のバス見直しについては事務局案による方向性であり、地元協議後に改訂をしたものを次回会議にて提出して検討するということでよいか。

事務局 そのとおり。美並地域のバスルート見直しについては、事務局案のため今後、美並地域協議会やサロン等にて地元の意見を取り入れて、次回会議にて改訂したものを提出して承認いただきたい。

議長 令和3年度生活交通確保維持改善計画（P.8まで）の補助対象は、令和2年10月1日～令和3年9月30日までとなり、P.8までを計画として承認していただきたい。また美並地域のバスルート見直しについては現時点では事務局案であり、地元協議後に改訂したものを令和3年度生活交通確保維持改善計画（P.8まで）に組み込ませていただくということをご理解いただきたい。他に意見が無ければ原案の通り承認してよろしいか。

全委員 異議なし

7. 報告事項

報告第1号 自主運行バス「美並巡回バス」並びに郡上八幡コミュニティバス「まめバス（赤ルート）」の車両更新について 事務局より報告 … 資料3

* 質疑応答

議長 議案第2号にて、美並巡回バスとして29人乗りを引き続き使用することになっているが、更新ということではよかったのか。

事務局 昨年度の時点では令和2年度においても1台体制での運行予定であり29人乗りから14人乗りへ更新するという表記になっている。議案第2号美並地域のバスルート見直しにて、次回会議にて3台運行が確定した場合は、29人乗りを引き続き使用するため増車となり、所有台数の変更をすることになる。現時点においては確定していないため更新という表記にしている。

8. 情報交換

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律改正について 岐阜運輸支局より説明 … 資料3

* 質疑応答

委員 今回の法律改正にデジタルマーケティングがあるが、デジタル地域通貨を活用すると決算データがとれるため、まめバスOD調査にも活用することができる。また、コロナ禍においてキャッシュレスにすることで感染予防対策にもなる。デジタル通貨を取り入れることも検討してはどうか。

事務局 デジタル通貨の導入については、交通分野だけでなく広範囲に及ぶため全体で検討して導入した後の次の段階として交通分野に取り入れていくといった順番になると思う。

委員 デジタル通貨については、公共交通会議だけで検討していくことは難しい。設備投資、データ保管等に莫大な費用もかかるようである。最近の事例では、スマホ決済等を行っている交通事業者もでてきている。

議長 長良川鉄道ではペイペイの使用率はどれくらいか。

委員 長良川鉄道のワンマンのみとなるが、ペイペイの使用率は2～3%程度である。

委員 事業者路線については、ペイペイは5件くらいしか使用していない。タクシーについては高速インター線からの乗車でほとんどが観光客となり10%くらいの使用率である。コロナ対策としては、運転席に遮断カーテンを設置している。貸し切りバスでは消毒等も実施している。

委員 法律が変わったからということではなくて、郡上のやり方を法律にリンクさせる発想で取り組んでほしい。

9. 閉 会 副会長 畑中知昭委員